

令和4年11月2日

**「豊かな福島を未来につなぐ
～原発事故からの回復と漁業復興にむけた課題～」
環境放射能研究所第18回研究活動懇談会**

福島大学環境放射能研究所は、研究成果を地域住民の方へ発信する「研究活動懇談会」を毎年数回行っています。この度、令和4年12月10日（土）に第18回目となる懇談会として、シンポジウム「豊かな福島を未来につなぐ～原発事故からの回復と漁業復興にむけた課題～」を開催いたします。

原発事故から11年が経過し、福島県の海域環境および海産物における放射性物質濃度は著しく低下しました。漁業復興に関しては、令和3年4月に「試験操業」から「本格操業に向けた移行期間」へと移行し、今後、各漁協が策定したロードマップに沿って計画的に漁獲量を増やしていく段階にあります。一方で、ALPS処理水の海洋放出が決定され、海産物への風評被害に対する懸念の声が再び高まっています。

本シンポジウムでは、原発事故以降、福島県海域の環境放射能や漁業復興に関する研究を実施してきた研究者らが一堂に会し、これまでに明らかにされたことや、これから取り組むべき課題などについて、主に科学的側面から講演します。

市民の方々とともに、「豊かな福島を未来につなぐ」ために何ができるのか理解を深める場とします。ぜひ事前の周知と当日のご取材よろしく願います。

記

- 日 時：令和4年12月10日（土）13：00～17：00
- 場 所：いわき産業創造館（ラトブ）6階企画展示室A面
*オンライン同時配信いたします（詳細は次ページ参照）
- テーマ：「豊かな福島を未来につなぐ
～原発事故からの回復と漁業復興にむけた課題～」
- 発表者：和田 敏裕（福島大学 環境放射能研究所 准教授）
※発表順 石丸 隆（東京海洋大学 特任教授）
高田 兵衛（福島大学 環境放射能研究所 特任准教授）
森田 貴己（水産研究・教育機構 水産資源研究所 主幹研究員）
齋藤 健（福島県漁業協同組合連合会
災害復興プロジェクトチームリーダー）
八木 信行（東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授）
水野 拓治（福島県水産海洋研究センター 所長）

- 申込：参加費無料・事前申込制
電話、メール（以下問合せ先参照）または下の QR コードより
参加申込みください。
申込期限は 12 月 9 日（金）正午とさせていただきます。



* オンライン配信は Zoom を使用予定です。オンライン参加ご希望の方には、参加お申込み後、参加用 URL を E メールにてお送りいたします。

※当日の取材をご希望の方は、前日までに以下お問合せ先までご連絡ください。

（お問合せ先）

福島大学環境放射能研究所 事務室（担当：阿部、高山）

電話：024-504-2114 FAX：024-503-2921

メール：ier@adb.fukushima-u.ac.jp



福島大学 環境放射能研究所
第18回研究活動懇談会

シンポジウム

豊かな福島を未来につなぐ

～原発事故からの回復と漁業復興にむけた課題～



2022年12月10日 **土**

13:00～17:00 (受付開始12:30)

いわき産業創造館 (ラトブ6階)

参加無料 事前申込制

オンライン同時配信

企画展示室A

講演内容 ※プログラム順

漁業復興の概要とこれから

和田 敏裕
福島大学環境放射能研究所
准教授

海洋生態系の放射能汚染

石丸 隆
東京海洋大学
特任教授



日本の海洋環境におけるトリチウム：
魚と海水の関係

高田 兵衛
福島大学環境放射能研究所
特任准教授



福島産海産物の安全性

森田 貴己
水産研究・研究機構 水産資源研究所
主幹研究員



ふくしまの漁業は今

齋藤 健
福島県漁業協同組合連合会
災害復興プロジェクトチームリーダー



水産物の風評被害と応援買い

八木 信行
東京大学大学院 農学生命科学研究科
教授

ふくしまの漁業の未来

水野 拓治
福島県水産海洋研究センター
所長

後援

福島県、いわき市

お問合せ

TEL:
024-504-2114
(詳細は裏面ご参照ください)

